

## 社内でアイデアを出し合える環境が業務効率化を加速

大阪府堺市で「ケアセンターあおい」を運営する特定非営利活動法人ワークサポートひまわりは、大阪府内の3拠点で訪問介護や居宅介護、移動支援、居宅介護支援、計画相談を行っている。経験年数の長い従業員が多く、丁寧な接遇を強みとしている。以前はインストール型の介護業務管理ソフトを活用していたが、スマートフォンやタブレットでいつでもどこでもデータチェックできるようにしたいと考え、クラウド型のソフトを導入して3年目になる。

IT導入にあわせ、従業員が率先して業務効率化の手法を考え、様々なアイデアが生まれるなど、従業員同士がコミュニケーションを図りながら、日々の業務に取り組む雰囲気が自然と生まれている。

### 導入したITツール

- 「介護業務管理ソフト」：タブレットを活用した介護記録や帳票の手書き業務の効率化
- 「ビジネスコミュニケーションチャット」：社員間の情報共有、コミュニケーションの円滑化
- 「クラウド会計ソフト」：会計・給与業務の効率化

### IT導入のここがポイント！

#### ▶▶▶ 従業員が自発的に業務効率化のアイデアを出し合うように

事務員が行っていた業務を経営者や介護スタッフが行わなければならない環境になった時に、介護スタッフが率先して業務効率化の手法を考えてくれた。経営者だけでは思いつかなかった効率化の様々なアイデアが生まれ、事務所内で実践された。こうした活動を通じて、従業員のマルチタスク化にもつながり、専門以外の業務にも対応できるようになった。



IT導入でいつでもどこでもデータチェック可能に

#### ▶▶▶ スタッフの人数や雇用形態に合わせたIT導入

常勤職員から月1回従事する登録ヘルパーまで様々な雇用形態のスタッフを90名近く抱える事業所であるため、同じITツールをスタッフ全員に一齐に導入することは運用面・金銭面ともに困難であった。

スタッフ間の情報共有においては、扱う情報の量や頻度、使いやすさに応じて、チャットやSNS、Eメール、ショートメールなどの手法を使い分けている。



丁寧な接遇が強みの介護サービス

#### ▶▶▶ 同業他社とのコミュニケーションで積極的に情報収集

経営者が、介護業界に特化した税理士事務所が主催する勉強会やセミナーに積極的に参加することにより、IT導入や労務関係など、他社の経営者と情報交換する機会が増えた。

こうした情報を参考に、フレックス制の活用などスタッフの働きやすい環境整備に努めている。



率先して業務効率化のアイデアを出し合い実践

### IT導入の効果

- 訪問記録作成にかかる業務の効率化で、残業時間が1日あたり2時間程度削減。
- 利用者からの営業時間外の電話連絡への対応やシフト変更の情報共有が円滑になった。

#### 【企業概要】

・企業名：特定非営利活動法人ワークサポートひまわり  
・住所：大阪府堺市美原区黒山152-26

・電話番号：072-361-6002  
・URL：<http://hp.kaipoke.biz/9vp/>